

# 中小企業DX推進支援事業 2020年4月～2021年3月（以後の実施計画も含む）実施予定 ((公財)ひろしま産業振興機構)

## 【課題】

- AI、IoTなどのデジタル技術により製造現場の業務効率化や自動化に取り組むことは、イノベーションを起こすための重要な要素であり、スマート化への取組が注目されている。
- 県内のIoT活用の設備投資の実施状況は、製造業で約2割にとどまっており、「費用対効果が不明」、「自社に合った活用方法がわからない」、「十分に活用するための人材がいない」等のスマート化を取り巻く課題も浮き彫りになっている。



## 【目的】

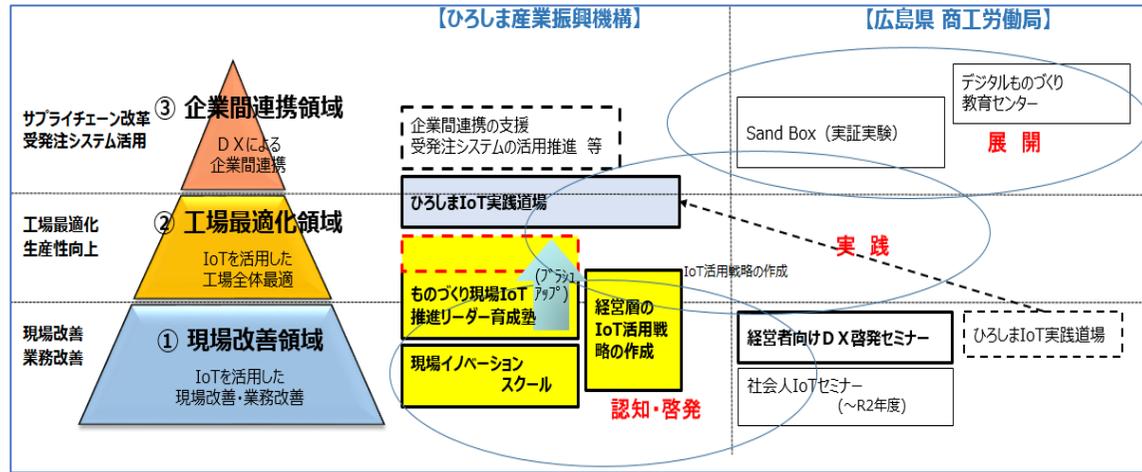
- 「①現場改善領域」から「②工場最適化領域」のレイヤーにわたる一連の支援を県内の中核的な産業支援機関である本財団が主催して取り組むことで、中小ものづくり企業のIoT活用を促進。
- 以て、将来的な「③企業間連携領域」のレイヤーへの到達に寄与。



## 【都道府県の施策との連携・親和性】

- 広島県では、イノベーション立県の実現を施策ビジョンとして掲げており、その柱の一つとして、絶え間なくイノベーションが創出される環境・状況「イノベーション・エコシステム」の構築を目指している。

## 【中小企業DX推進支援事業】

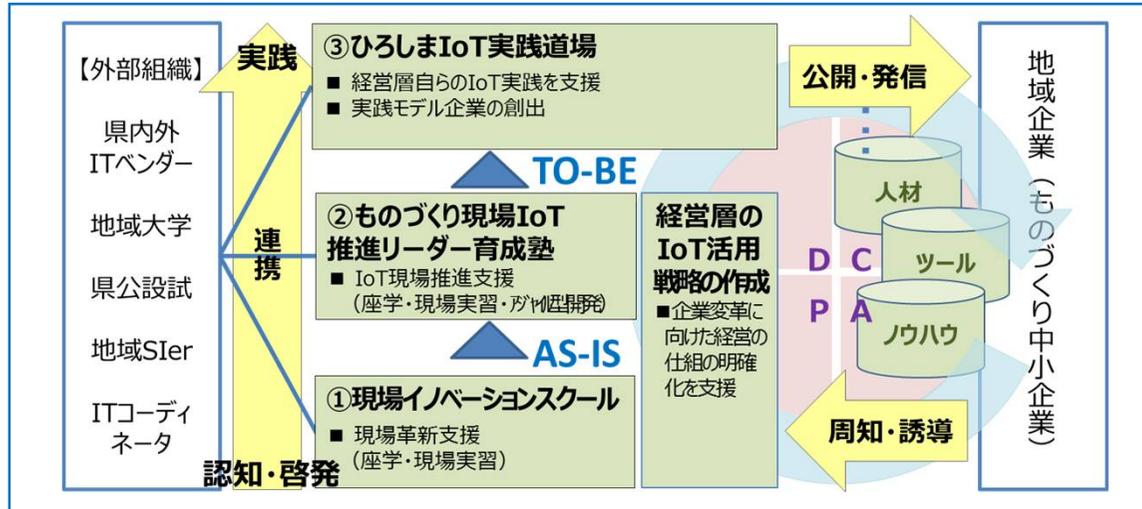


## 【成果目標】

- 本事業を通じて、5件のものづくり中小企業のIoT実装を目指す。（R2～5年度：18件）
  - ・ものづくり現場IoT推進リーダー育成塾：3件
  - ・ひろしまIoT実践道場（2年間で1サイクルの事業）：2件
- 各社のIoT活用戦略（個別に設定された稼働率の向上、製造原価低減等）の達成状況を見る。



## 【R2年度本事業の内容（人材育成）】



## 【波及効果】

各種事業の成果報告の公開・発信により、触発され自発的なIoT推進を図るムーブメントを引き起こす。

- IoT活用したモデル企業を輩出し、IoT導入企業の裾野を広げる。
- 伴走する地場のITベンダー/SIerが、相互作用効果で機能拡大を図り、ビジネスとして個別展開化することにより、地場企業間の繋がりを構築し、IoT導入拡大につなげる。



## 【将来の支援目標】

「③企業間連携領域」のレイヤーへの到達を支援する。

- デジタルデータを活用した、企業変革や新たなビジネス展開
- 企業間連携やサプライチェーンの改革
- 受発注マッチング・受発注決裁の効率化等

- 地域ものづくり中小企業の経営者を対象に、DX（デジタルトランスフォーメーション）の必要性を啓発
- 現場スクールで現状分析（AS-IS）
- ものづくり現場IoT推進リーダー育成塾で、IoT活用の目指す姿（TO-BE）を設定
- IoT実践道場で目指す姿（TO-BE）を実践して成果を地域へ展開し、これら一連事業のPDCAを回す